令和 2 年度事業報告

法人本部

理事会で承認されました、令和 2 年度法人事業計画の本部運営方針として下記 3 点について報告する。

Ⅰ、法人合併について

・新型コロナウイルス感染症の影響で第 1 四半期は動きが全く止まってしまった。結果的に合併間近で時間がなくなり、棚上げした項目や詳細を詰められていない内容もあり、3 か月間という貴重な時間を無駄に過ごすことになったことは反省点である。棚上げした項目や詳細を詰められていない内容は合併後継続的に検討していく。

・作業の遅れを取り戻すためや実務担当者の作業軽減のために積極的に外部委託を活用出来たことは良かった点である。特に司法書士については、役所との折衝等大いに助かった。半面外部委託しても、実務担当者の手間が大幅に軽減出来ていないものもあったが知見を得たと思い、今後外部委託を検討する際には今回の経験を活かしたい。

・新型コロナウイルス感染症の影響により、就業規則等職員の処遇に関わることも一同に会して職員への説明が出来なく、動画配信という手段を取った。これも今までにはない手段であり、今後も活用が期待出来、外部委託同様に良い知見を得ることが出来た。

・実務的には、予定通り無事に合併登記まで完了出来て良かったが、これについては当たり前のことである。合併することが目的でゴールではなく、合併がスタートで今後どのように法人運営していくかが重要であることを忘れないようにしたい。

Ⅱ、法人本部の組織体系の再構築

・人事課の部分は外部委託により整理出来た。初年度という事もあり、委託先との連携において課題はあるが、合併後約 600 名の職員数の管理や業種柄入退職が多く、煩雑になる諸手続きを考えるとコストはかかるが、数名の担当者で賄え、他の者が違う業務に携われることは大きなメリットである。

・第 2 四半期より、課長が合併準備室の室長を兼務することになり、合併業務を最優先し、既存の業務を精査した。第 3 四半期途中に正職員が入職し、課長が行なっていた業務の多くを引き継ぐことが出来たが、合併作業も大詰めの段階で目の前の作業をこなすことで精一杯の状況であった。合併後は、職務分掌に基づき、役割分担を明確化し、より効率的、専門的に業務にあたりたいが、職員 1 人 1 人が多岐に業務をこなしていることから、実際に業務を行いなが

ら焦らず、時間をかけて整理していきたい。
・合併後、法人本部の事務所が 2 カ所に分かれる事になった。両事務所のコミュニケーションについて、第 4 四半期で詰める予定であったが、時間がなく出来ていない。こちらについても、合併後の課題として引き続き取り組む。

Ⅲ、各部署の目標

① 財務課

・給与計算業務の人事課への移行については 7 月の外部委託に伴い委託先への引継ぎや計算データのチェックに時間を費やしたものの 1 月にて移行を完了した。しかしながら経理業務、税務処理については連携が必須であるため、経理の立場としての助言は引き続き行った。
・今期決算作業については大きな会計制度の改正はなかったこと、顧問公認会計士も契約開始から 3 年目を迎え、各拠点の指導調査を毎回進めていく中で問題点を見直してきたことによりスムーズに進めていくことが出来た。また、新型コロナの影響で顧問公認会計士が来訪出来ないこともあったが、メールを活用しデータのやり取りを事前に行ってきため大きな支障が出ることはなかった。決算作業については昨年に続きリーダー1 人で行うことなく、付属明細についても分担し、全員が決算業務に関わる態勢作りに努めた。
・平成 27 年から開始した各種電子申告については今回の法人税、消費税の申告ですべての行政の申告が電子化となった。また給与計算業務の委託化に伴い委託先からのデータの提供についても不安はあったが 1 月の法定調書作成については無難に処理を完了した。
・年間の会計業務については在宅勤務の導入で今までとは違うスタートとなったが、比較的人と接することの少ない業務であること、年度途中から導入したビジネスチャットツール、グループウェアソフトを有効利用することにより、ほぼ週 1 回のペースで在宅勤務を行うことが出来た。グループウェアソフト導入については作業の省力化、紙媒体の削減、資料の紛失等の問題解決に寄与した。
・本部会計の収支については、理事長付き退職や理事会、評議員会の中止に伴い、人件費については当初予算を大幅に下回る結果となった。また事務費においては就職フェアの中止等による削減はあったものの法人合併に伴う社労士への業務委託内容の追加や司法書士への報酬等があり、逆に予算を上回ることとなった。また、パソコンの整備については Windows 10 への移行や合併に伴う会計パソコンの増設についても新機種購入は避け、現有機器のアップグレードや中古パソコンの購入により費用の削減に努めた。
・第 2 四半期より合併準備室の作業が本格的にスタートし経理グループとしてリーダーが準備に携わり会議への参加、経理規程や勘定科目の見直しに加わることとなった。また、司法書士を通じ大阪市へ提出する財務資料についても理

事長付きの退職に伴い経理リーダーが引き継ぐこととなった。初めてのことであり、試行錯誤はあったが、旧波除の経理担当と連携し、12 月の分科会まで準備を進めた。最後に経理ソフトについては、旧淳風会、旧波除福祉会とも同会社のソフトを利用していることから、準備から作業まではスムーズに行うことができ、1 月から作業開始し一部設定が必要な箇所はあるが、4 月下旬からは統一したソフトを利用できる状況である。

・平成 27 年度から財務課として行ってきた処遇改善加算業務についてはこの年度を持って終了し、7 月の実績報告の作業は残るがひとまず 3 月の一時金の計算で完結することとなった。今回、年度途中でのアウトソーシング化と対象職員の細分化で資料作成に相当の時間を費やすこととなったが、年度末の支払いに間に合わせることができた。今後は人事課へスムーズに業務が引き継げるよう持って行きたい。

・人材の育成については、年 2 回の面談を実施。率直な意見交換を行うことで良好な職場作りに努めてきた。リーダーが嘱託職員になっていることから、世代交代を見据えつつ、正職員に対し、リーダーシップを発揮するように指導はしているが、現状は難しい状態。このことに関しては、合併しても解決することではなく、引き続き組織としての課題である。

・研修については、これまでリーダーが制度改正に関係する研修に参加していたが、今回からリモート研修の増加に伴い参加が容易になったこともあり、今後はリーダー以外の職員にも参加を促して行きたい。

②人事課

・先に記載したように、課題はあるが労務手続き及び給与業務を外部委託出来たことは、将来的にも見通しが付けられることになり良かった。

・職員情報の一元化は、委託先システムである程度まとめられているが、合併後旧波除福祉会職員分も含め、当法人内システムで管理出来るように準備を進めている。

・人材確保については、全就職イベントが新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、ほぼ活動が出来なかったが、新卒 2 名の獲得で終わった。

・人材育成システムの構築については、法人全体としても結局何も取り組むことが出来なかった。今後は感染症流行など不測の事態でも継続出来るように世間でも変わっていくと思われる。法人として、世間の動向に乗り遅れないように注視したい。また、合併作業中に感じたが、給与規程に連動している育成評価システム等は、合併後に時間をかけて見直す必要がある。

③総務課

・新型コロナウイルス感染症がきっかけに在宅勤務やリモート会議を導入することが出来た。IT 化が進んでおらず、急遽準備した事もあり、まだまだ不十

分な点もあり、今後も少しずつ環境を整えていきたい。
・新型コロナウイルス感染症がきっかけではなく、かねてから本部内の情報共有について検討していたこともあり、ビジネスチャットツールを導入した。お互いのスケジュールが共有出来ることや気軽に情報共有出来ることから仕事の効率化に繋がった。また、合併を見据えて年度途中から法人全体でグループウェアソフトを導入し仕事の効率化はもちろん、紙媒体の削減等にも効果が出ている。

理事会及び評議員会の開催実績

・令和2年5月29日　令和2年度第1回理事会 決議の省略（書面評決）
（前回からの懸案事項）
特になし
（報告事項）
第一号報告　平成31年度監事監査結果報告について
第二号報告　代表理事(理事長)の職務執行状況について
第三号報告　社会福祉法人波除福祉会との合併について
（審議事項）
第一号議案　平成31年度事業報告について
第二号議案　平成31年度決算報告について
第三号議案　定款変更について（合併後の定款について）
第四号議案　合併後の評議員候補者の提案について
第五号議案　合併後の役員等の提案について
第六号議案　定時評議員会招集（決議の省略提案予定）について
第七号議案　就業規則・期間契約職員就業規則・登録ヘルパー就業規則一部変更について
第八号議案　給与規程一部変更について
第九号議案　妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメントの防止規程一部変更について
第十号議案　小規模多機能ホーム淳風きたじょう事業閉鎖について
・令和2年4月17日　令和2年度第1回評議員会 決議の省略（書面評決）
（報告事項）
特になし
（決議事項）
第一号議案　社会福祉法人波除福祉会との合併契約承認の件
・令和2年6月19日　令和2年度第2回評議員会 決議の省略（書面評決）
（報告事項）
第一号報告　平成31年度監事監査結果報告について
第二号報告　平成31年度事業報告について
（決議事項）
第一号議案　平成31年度計算書類及び財産目録の承認について

第二号議案　合併後の理事 11 名選任について
第三号議案　合併後の監事 2 名選任について
第四号議案　定款変更について（合併後の定款について）

・令和 2 年 8 月 21 日　令和 2 年度第 2 回理事会 決議の省略（書面評決）

(前回からの懸案事項)
特になし

(報告事項)
第一号報告　令和 2 年度第 1 四半期事業報告
第二号報告　代表理事(理事長)の職務執行状況報告
第三号報告　社会福祉法人波除福祉会との合併手続き進捗報告

(審議事項)
第一号議案　淳風おおさか空調入替え工事請負契約締結の件

・令和 2 年 11 月 20 日　令和 2 年度第 3 回理事会

(前回からの懸案事項)
特になし

(報告事項)
第一号報告　令和 2 年度第 2 四半期事業報告
第二号報告　代表理事(理事長)の職務執行状況報告
第三号報告　社会福祉法人波除福祉会との合併手続き進捗報告

(審議事項)
第一号議案　補正予算の件
第二号議案　就業規則（期間契約職員就業規則・登録ヘルパー就業規則含む）及び給与規程一部変更の件
第三号議案　育児介護休業規程一部変更の件

・令和 3 年 2 月 19 日　令和 2 年度第 4 回理事会

(前回からの懸案事項)
特になし

(報告事項)
第一号報告　令和 2 年度第 3 四半期事業報告
第二号報告　代表理事(理事長)の職務執行状況報告
第三号報告　社会福祉法人波除福祉会との合併手続き進捗報告

(審議事項)
第一号議案　社会福祉法人波除福祉会と合併後の人事の件
第二号議案　社会福祉法人波除福祉会と合併後の規程類の件
第三号議案　令和 2 年度第 2 回補正予算の件
第四号議案　特別養護老人ホーム淳風とよなか大規模改修工事に伴う資金計画及び設計監理業者との契約の件

・令和 3 年 3 月 19 日　令和 3 年第 5 回理事会
（前回からの懸案事項）
特になし
（報告事項）
第一号報告　令和 3 年度理事会開催日程報告
第二号報告　社会福祉法人波除福祉会との合併手続き進捗報告
（審議事項）
第一号議案　令和 3 年度事業計画案の件
第二号議案　令和 3 年度予算案の件
第三号議案　役員報酬規程一部変更の件
第四号議案　就業規則及び期間契約職員就業規則及び登録ヘルパー就業規則一部変更の件
第五号議案　給与規程一部変更の件
第六号議案　通勤手当・車両に関する規則新設の件
第七号議案　退職金規程新設の件
第八号議案　人事評価規程（子育て支援事業部）新設の件
第九号議案　育児介護休業規程一部変更の件
第十号議案　特別養護老人ホーム淳風とよなか大規模改修工事入札実施の件
第十一号議案　波除福祉会館及び経王寺土地競売に対する入札参加の件

登記事項

資産の総額の登記　　金 28 億 1784 万 307 円　令和 2 年 3 月 31 日変更

その他重要な契約

令和 2 年 4 月 10 日　淳風とよなか
施設車両買い替え
昭栄自動車整備株式会社（532,810 円）
令和 2 年 4 月 21 日　法人本部
リモートソフトライセンス契約
リコージャパン株式会社（574,200 円/年 29 ライセンス）
令和 2 年 4 月 23 日　淳風おおさか
総合相談窓口業務委託契約
社会福祉法人大協会
（契約期間令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日 5,100,000 円）
令和 2 年 4 月 28 日　法人本部
障害者雇用納付金
独立行政法人高齢・障害求職者支援機構（1,025,000 円）

令和２年５月７日　淳風おおさか
補助金交付申請に関する業務委託契約
Daigas エナジー株式会社（1,500,000 円）
令和２年５月 12 日　淳風とよなか
本館１階漏水修理及び男女更衣室改修工事
稲葉建築工房（5,313,000 円）
令和２年５月 20 日　グリーンヒル淳風
施設車両買い替え
東洋自動車株式会社（1,356,340 円）
令和２年６月 29 日　淳風おおさか
給湯配管修繕工事及び水栓器具修繕工事
高砂熱化学工業株式会社（572,000 円）
令和２年７月６日　法人本部
2022 年卒対象マイナビ医療・福祉業界就職セミナー出展料
株式会社ネオキャリア（1,089,000 円）
令和２年８月 18 日　淳風おおさか
移動式リフト２台購入
株式会社三笑堂（869,200 円）
令和２年８月５日　淳風とよなか
スプリンクラー非常用発電機設備修理工事
清和アメニティ株式会社（527,846 円）
令和２年 10 月 15 日　淳風おおさか
移動式リフト４台、スリングシート 11 枚
株式会社三笑堂（1,905,430 円）
令和２年 10 月 15 日　淳風おおさか
受水槽設備改修工事
生和アメニティー（467,500 円）
令和２年 10 月 17 日　淳風おおさか
業務用乾燥機
岡村プロテックス株式会社（988,240 円）
令和２年 10 月 20 日　淳風おおさか
給湯管修繕工事（４階・５階）
高砂熱学工業株式会社（528,000 円）
令和２年 10 月 22 日　淳風とよなか
加湿空気清浄機 12 台
株式会社ヤマダデンキ（1,452,000 円）
令和２年 10 月 29 日　淳風おおさか
PVC 手袋 600 箱
大塚商会（440,400 円）

令和２年10月30日　法人本部
Quoカード（法人忘年会中止の伴い全職員への配布分）
日進堂印刷株式会社（1,084,200円）

令和２年11月２日　グリーンヒル淳風
加湿付空気清浄機
リコージャパン株式会社（311,500円）

令和２年11月２日　グリーンヒル淳風
スプリンクラープロメーター交換
ダイキンエアテクノ株式会社（605,000円）

令和２年11月４日　グリーンヒル淳風
コンビオーブン
株式会社フジマック（1,133,000円）

令和２年11月６日　淳風おおさか
火災通報装置修理
生和アメニティー（302,720円）

令和２年11月９日　淳風とよなか
加湿空気清浄機８台
株式会社ヤマダデンキ（307,824円）

令和２年11月10日　淳風とよなか
PVC手袋700箱
大塚商会（513,800円）

令和２年11月26日　淳風とよなか
LAN工事
リコージャパン株式会社（798,820円）

令和２年11月27日　淳風とよなか
加湿空気清浄機３台
株式会社ヤマダデンキ（336,600円）

令和２年12月４日　グリーンヒル淳風
ルームエアコン３台
リコージャパン株式会社（750,000円）

令和２年12月４日　淳風おおさか
車輌修理
東洋自動車（536,723円）

令和２年12月12日　法人本部
法人パンフレット
エムビーテクノ株式会社（337,700円）

令和２年12月14日　グリーンヒル淳風
受水槽、高架水槽コーティング
ダイキンエアテクノ株式会社（627,000円）

令和 2 年 12 月 14 日　淳風とよなか
眠りスキャン 20 台
株式会社三笑堂（1,860,650 円）
令和 2 年 12 月 14 日　淳風おおさか
クリーンパーテーション 2 台
株式会社三笑堂（341,000 円）
令和 2 年 12 月 23 日　淳風おおさか
消防設備点検
生和アメニティー（302,720 円）
令和 2 年 12 月 25 日　淳風とよなか
玄関外側自動ドア装置更新工事
ナブコドア株式会社（404,000 円）
令和 3 年 1 月 12 日　淳風おおさか
レセプトソフト入替え
大阪府医師協同組合(563,200 円)
令和 3 年 1 月 23 日　淳風おおさか
特殊浴槽ストレッチャー
株式会社三笑堂(1,002,000 円)
令和 3 年 1 月 31 日　淳風おおさか
特殊浴槽ストレッチャー（追加）
株式会社三笑堂(325,600 円)
令和 3 年 2 月 11 日　淳風おおさか
自動ドア装置取替工事の件
有限会社明光（385,000 円）

職員状況

R3.3.31現在

	10代			20代			30代			40代			50代			60代			70代			80代			合計			
	人数	割合	勤続年数	人数	割合	勤続年数	人数	割合	勤続年数	人数	割合	勤続年数	人数	割合	勤続年数	人数	割合	勤続年数	人数	割合	勤続年数	人数	割合	勤続年数	人数	割合	勤続年数	平均年齢
	人	%	年	人	%	年	人	%	年	人	%	年	人	%	年	人	%	年	人	%	年	人	%	年	人	%	年	歳
男性																												
正職員	0	0.0%	0.0	10	2.9%	3.4	26	7.5%	6.5	41	11.9%	8.2	12	3.5%	6.6	0	0.0%	0.0	0	0.0%	0.0	0	0.0%	0.0	89	25.8%	7.0	40.4
嘱託職員	0	0.0%	0.0	0	0.0%	0.0	0	0.0%	0.0	0	0.0%	0.0	0	0.0%	0.0	2	0.6%	12.4	1	0.3%	7.0	0	0.0%	0.0	3	0.9%	10.6	67.7
契約職員	1	0.3%	0.4	2	0.6%	0.1	1	0.3%	7.3	3	0.9%	1.9	3	0.9%	6.4	6	1.7%	4.4	11	3.2%	9.2	1	0.3%	1.7	28	8.1%	5.8	59.0
計	1	0.3%	0.4	12	3.5%	2.9	27	7.8%	6.5	44	12.8%	7.8	15	4.3%	6.5	8	2.3%	6.4	12	3.5%	9.0	1	0.3%	1.7	120	34.8%	6.8	45.7
女性																												
正職員	0	0.0%	0.0	10	2.9%	2.4	22	6.4%	7.1	29	8.4%	7.0	29	8.4%	7.4	3	0.9%	5.9	0	0.0%	0.0	0	0.0%	0.0	93	27.0%	6.6	43.8
嘱託職員	0	0.0%	0.0	0	0.0%	0.0	0	0.0%	0.0	0	0.0%	0.0	0	0.0%	0.0	5	1.4%	10.1	0	0.0%	0.0	0	0.0%	0.0	5	1.4%	10.1	63.8
契約職員	2	0.6%	0.1	4	1.2%	0.6	13	3.8%	3.0	30	8.7%	5.5	29	8.4%	5.6	26	7.5%	7.6	23	6.7%	8.2	0	0.0%	0.0	127	36.8%	5.9	53.7
計	2	0.6%	0.1	14	4.1%	1.8	35	10.1%	5.6	59	17.1%	6.2	58	16.8%	6.5	34	9.9%	7.8	23	6.7%	8.2	0	0.0%	0.0	225	65.2%	6.3	40.4
合計																												
正職員	0	0.0%	0	20	5.8%	2.905	48	13.9%	6.757	70	20.3%	7.727	41	11.9%	7.178	3	0.9%	5.9	0	0.0%	0.0	0	0.0%	0.0	182	52.8%	6.8	42.1
嘱託職員	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	7	2.0%	10.7	1	0.3%	7.0	0	0.0%	0.0	8	2.3%	10.3	65.3
契約職員	3	0.9%	0.175	6	1.7%	0.407	14	4.1%	3.33	33	9.6%	5.14	32	9.3%	5.668	32	9.3%	7.0	34	9.9%	8.5	1	0.3%	1.7	155	44.9%	5.9	54.7
計	3	0.9%	0.175	26	7.5%	2.329	62	18.0%	5.983	103	29.9%	6.899	73	21.2%	6.516	42	12.2%	7.5	35	10.1%	8.5	1	0.3%	1.7	345	100.0%	6.5	48.4

有休消化日数

所属名			期間計	平均取得日数
法人本部	消化日数	今年度	118.5	12.7
		前年度	115.0	11.7
	人数（延べ）	今年度	112.0	
		前年度	118.0	
グリーンヒル淳風	消化日数	今年度	650.0	9.8
		前年度	602.0	8.7
	人数（延べ）	今年度	796.0	
		前年度	828.0	
淳風とよなか	消化日数	今年度	1704.0	9.3
		前年度	1356.5	9.7
	人数（延べ）	今年度	2194.0	
		前年度	1681.5	
淳風おおさか	消化日数	今年度	993.5	11.4
		前年度	914.5	10.1
	人数（延べ）	今年度	1049.0	
		前年度	1086.0	
法人全体	消化日数	今年度	3466.0	10.0
		前年度	2988.0	9.7
	人数（延べ）	今年度	4151.0	
		前年度	3713.5	

※上記は時間有給含まず

○年次有給休暇の年間平均取得日数の計算式

$$年間平均取得日数=\frac{算定期間中の毎月の有休取得日数の合計}{算定期間中の毎月の対象労働者の合計}\times 12$$

令和2年給与・賞与支給額

		人数	総支給額	差引支給額	総支給額（平均）	差引支給額（平均）
法人本部	正職員・嘱託職員	7	23,710,408	18,537,661	3,387,201	2,648,237
	契約職員	3	4,124,420	4,049,916	1,374,807	1,349,972
グリーンヒル淳風	正職員・嘱託職員	24	94,701,648	74,925,350	3,945,902	3,121,890
	契約職員	53	48,646,357	46,138,469	917,856	870,537
淳風とよなか	正職員・嘱託職員	120	445,843,023	352,686,795	3,715,359	2,939,057
	契約職員	93	107,129,569	94,524,349	1,151,931	1,016,391
淳風おおさか	正職員・嘱託職員	72	256,551,993	203,793,892	3,563,222	2,830,471
	契約職員	42	39,639,566	34,788,896	943,799	828,307
法人全体	正職員・嘱託職員	223	820,807,072	649,943,698	3,680,749	2,914,546
	契約職員	191	199,539,912	179,501,630	1,044,712	939,799

※年度途中での入退職者も人数に含む（1人としてカウント）。
上記により平均を算出しているため、実態より低い額となります。
契約職員には期間契約職員及び登録ヘルパーも含みます。

正職員の退職率

R3.3.31現在

		A H29.3.31 在籍人数	B R3.3.31 在籍人数	(A-B)/A(%) 退職率
5年比較	グリーンヒル	20	15	25.0%
	とよなか	69	45	34.8%
	おおさか	53	28	47.2%
	本部	5	4	20.0%
	計	147	92	37.4%

		A H30.3.31 在籍人数	B R3.3.31 在籍人数	(A-B)/A(%) 退職率
3年比較	グリーンヒル	20	18	10.0%
	とよなか	81	68	16.0%
	おおさか	53	43	18.9%
	本部	5	4	20.0%
	計	159	133	16.4%

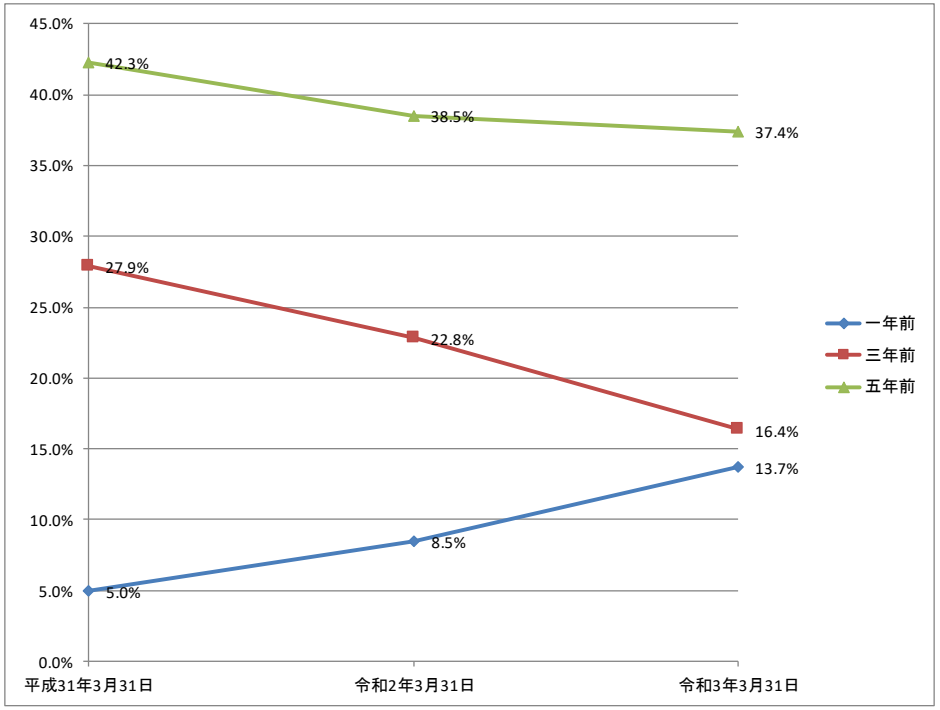
		A R2.3.31 在籍人数	B R3.3.31 在籍人数	(A-B)/A(%) 退職率
1年比較	グリーンヒル	21	20	4.8%
	とよなか	109	97	11.0%
	おおさか	61	48	21.3%
	本部	6	5	16.7%
	計	197	170	13.7%

退職率3ヵ年推移表

平成31年3月31日現在～令和3年3月31日現在

		法人全体
一年 退職率	平成31年3月31日	5.0%
	令和2年3月31日	8.5%
	令和3年3月31日	13.7%
三年 退職率	平成31年3月31日	27.9%
	令和2年3月31日	22.8%
	令和3年3月31日	16.4%
五年 退職率	平成31年3月31日	42.3%
	令和2年3月31日	38.5%
	令和3年3月31日	37.4%

【指標】
(公財)介護労働安定センター
令和元年度「介護労働実態調査」より
一年間(平成30年10月1日～令和元年9月30日)の離職率
15.40%



(計算式)

$$5\text{年退職率}(\%) = \left(1 - \frac{\text{5年前に在籍していて本年4月1日にも在籍している人数}}{\text{5年前の在籍人数}}\right)$$

$$3\text{年退職率}(\%) = \left(1 - \frac{\text{3年前に在籍していて本年4月1日にも在籍している人数}}{\text{3年前の在籍人数}}\right)$$

$$1\text{年退職率}(\%) = \left(1 - \frac{\text{1年前に在籍していて本年4月1日にも在籍している人数}}{\text{1年前の在籍人数}}\right)$$

令和２年度事業報告書

ケアハウスグリーンヒル淳風
軽費老人ホーム（ケアハウス）事業
訪問介護・訪問型サービス事業
居宅介護・重度訪問介護事業
地域密着型通所介護・通所型サービス事業
居宅介護支援事業
地域包括支援センター事業

令和２年度の事業計画において
１．施設の老朽化、不具合の住環境の整備
２．より良いサービスの提供の実現
３．グリーンヒル淳風の組織体制の強化
の3点をグリーンヒル全体の目標とし､各事業を運営しましたので報告をいたします。

Ⅰ．ケアハウス

実績
目標数字：稼働率 98.0％（49 名/月）。

	令和２年度 実績	前年度 実績	前年比
月初入居者数 （稼働率）	551 人 (91.8%)	577 人 (96.1%)	95.5%
月平均	45.9 人	48.1 人	95.4%
新入居者数	6 人	9 人	66.7%
退居者数	9 人	11 人	81.8%

・令和２年度の新入居者は６名、退去者は９名あり年間稼働率は未達成となったが、１月以降の体験利用は５名で３名が入居となっている。ホームページや空き情報送付による入居相談は増加している。また、行政からの虐待相談も増加しており、介護保険未申請者等の入居先としての役割を担っていきたい。
・寝屋川市内の病院、施設で多数のコロナ感染クラスターが確認されている。日常生活における感染予防として、家族面会の制限、外出自粛、マスク着用、デイサービス利用の制限の協力依頼を継続している。また、職員による入居者検温を毎日実施､毎食後の食堂内消毒､定期的な館内消毒と換気を実施している。

・コロナ禍のため外食ツアー、買い物ツアーは中止しているが、感染対策のなかラジオ体操、ビデオ上映会、新年会、花見フェスは開催した。
・東校区の地域サロン、鍵預かり事業協力施設連絡会は中止となっているが、寝屋川市高齢者施設協議会が設立され入会、感染症発生時における職員派遣支援事業に参加する。

Ⅱ．訪問介護事業

実績

目標数字：上期 1,250 時間、下期 1,300 時間

介護保険関係	令和 2 年度 実績	前年度 実績	前年比
利用者数（延べ）	1,701 人	1,648 人	103.2 %
訪問回数	15,724 回	15,467 回	%
サービス提供時間 （月平均）	15,115:37 （ 1,259:06 ）	14,636：38 （1,219：07）	103.3%

サービス区分別	令和 2 年度 実績	前年度 実績	前年比
身体介護	2,725：20	2,662：10	102.4%
身体生活	3,478：35	2,944：02	118.1%
生活援助	5,082：20	5,067：25	100.3%
移動支援関係	令和 2 年度 実績	前年度 実績	前年比
利用者数（延べ）	0 人	13 人	%
サービス提供時間	00：00	87：40	%

障害福祉関係	令和 2 年度 実績	前年度 実績	前年比
利用者数（延べ）	13 人	20 人	65.00%
サービス提供時間	118：00	109：30	107.8%

育児・家事支援	令和 2 年度 実績	前年度 実績	前年比
利用者数（延べ）	26 人	17 人	152.9%
サービス提供時間	182：30	144：30	126.3%

・上期は目標達成したが、下期は未達成となった。3 月はケアハウス内利用者の需要が増え提供時間数は増え収入も安定している。コロナ禍の中、新規の問い合わせ、依頼はあるが希望の曜日、時間の指定があり受けられない事も多くなっている。また、登録ヘルパー体調不良時や、コロナ濃厚接触者で自宅待機指示が出た場合はサービス提供に大きな影響が出るため、ヘルパー確保は急務となっている。常勤パートヘルパー採用、チラシ配布による求人も検討している。
・コロナ感染予防にあたり、マスク、ゴム手袋、消毒液等の確保はできているのでヘルパーへの必要数の配布は実施できている。濃厚接触者へのサービス提供時には、防護服、キャップ、靴カバー着用し支援を行った。
・コロナ禍によりヘルパー研修は実施できていないが、研修資料の配布は行っている。法改正により事業所加算算定要件となっている研修は、e ラーニング利用の検討予定している。

Ⅲ．通所介護事業

実績

目標数字：月平均稼働率 85.0％

介護保険関係	令和 2 年度 実績	前年度 実績	前年比
実利用者数（延べ）	2,980 人	2,911 人	102.4%
一日平均利用者数	9.6 人	9.5 人	101.1%
稼働率	96.1%	94.5%	101.7%

・月平均稼働率は目標達成、適正な収入の確保もできた。コロナ禍による外部利用者の利用控えはあるが、ケアハウス入居者の利用控えはなく、キャンセルもほぼなく需要が増えていることの影響は大きい。
・ケアハウスのコロナ感染症予防対策として、ケアハウス利用者の利用日は月・水・金とし、外部利用者と棲み分けを実施している。そのため、曜日による稼働率に差が出ていることは課題となっている。今後、ケアハウス、外部利用者の受け入れ曜日や体制の調整も必要になってくると考えられる。
・コロナ禍により地域サロンが中止となっており地域との交流はできていない。
・ご利用者、ご家族、ケアハウス、ケアマネとの情報提供や共有、連携は図れており信頼関係構築に繋げることができた。

Ⅳ．居宅介護支援事業

① 実績

目標数字：要介護　月平均 202 件　要支援　60 件

介護保険関係	令和2年度 実績	前年度 実績	前年比
要介護者契約延べ数 （月平均）	2,502件 （208.5件）	2,506件 （208.8件）	99.8%
要支援者契約延べ数 （月平均）	797件 （66.4件）	563件 （46.9件）	141.6%

・目標数字は達成できた。ケアマネ6.2名体制維持、コロナ禍の影響か4.5月の新規依頼は少なかった。ご逝去、施設入所もあったが、地域包括、利用者家族等多方面からの依頼もあり件数の維持はできている。
・コロナ感染によりご逝去された利用者もおり、緊急事態宣言時は元より、利用者訪問は感染予防対応を実施、最低限として電話による状況把握に努めた。
・圏域地域包括によるネットワーク会議、病院や事業所訪問は中止となっているため、情報提供、共有は文書や電話にて実施し連携を図った。
・外部研修が少ない中、オンライン研修を2回受講。特定事業所加算要件である事例検討会はリモートにて実施した。
・主任ケアマネ研修を2名が受講、主任ケアマネ6名体制となった。
・コロナ禍により法人内プランチェックは実施できていないが、事業所内プランチェックは2回実施した。
・給付管理業務は全員が実施できる体制が取れた。

Ⅴ．地域包括支援センター

① 実績

目標数字：直轄ケアプラン数　105件/月
　　委託プラン数　　225件/月

介護保険関係	令和2年度 実績	前年度 実績	前年比
予防プラン数（延べ）	3,721件	3,975件	96.6%
内直轄プラン（延べ） （月平均）	1,166件 （97.2件）	1,209件 （100.8件）	96.4%
相談件数（延べ）	483件	404件	119.6%

・直轄プラン、委託プラン数も未達成となった。コロナ禍による影響と総合事業での訪問指導の動きで使い控えあり全体的に減少した。プランナー担当件数は新規を積極的に取るものの、介護認定で要介護となったり、施設入所等が増え伸び悩んだ。相談件数は例年に比べ多くなっている。

・コロナ禍の影響で地域サロン等は中止となっているが、会議体はズーム等を利用し開催している。
・包括職員の外部研修は消費サポーター更新研修、小地域ネットワーク活動リーダー研修の受講とリモートによる介護保険改正研修のみとなった。

Ⅵ. その他

令和 2 年度は、ケアハウス所有車両、訪問・居宅所有のバイクの買い替えを実施。ケアハウス廊下通路誘導灯バッテリー交換、スプリンクラーポンプ交換を実施、施設内設備の不具合改善を進めた。コロナ感染予防として各事業所に加湿機能付き空気清浄器を設置、デイサービス室内は加湿、換気、空気清浄機能付きのエアコンを設置した。

令和2年度　ケアハウス入居者状況　　R3.3.31現在

1、月初入居者総数

4月	5月	6月	7月	8月	9月
47	47	47	46	48	47
10月	11月	12月	1月	2月	3月
46	44	43	44	45	47

2、新入居者

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0	0	0	1	2	0
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	2	1	1	1	2
				合計	11
				前年度	9

3、退居者

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0	0	2	0	1	2
10月	11月	12月	1月	2月	3月
4	1	1	0	0	2
				合計	13
				前年度	11

4、体験入居者

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0	0	2	2	0	1
10月	11月	12月	1月	2月	3月
3	2	3	1	2	2
				合計	18
				前年度	13

5、月中入院者又はSS等の長期利用（延べ）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
4	5	4	3	2	2
10月	11月	12月	1月	2月	3月
2	3	2	4	2	3
				合計	36
				前年度	42

6、介護区分状況（介護度別）

介護度	全		男		女	
	当年	前年	当年	前年	当年	前年
自立	11	7	3	2	8	5
要支援1	4	4	2	3	2	1
要支援2	4	3	1	1	3	2
要介護1	10	11	5	4	5	7
要介護2	11	15	4	4	7	11
要介護3	5	4	3	1	2	3
要介護4	1	2	0	0	1	2
要介護5	1	1	0	0	1	1
合計	47	47	18	15	29	32

7、平均年齢等

介護区分	全		男		女	
	当年	前年	当年	前年	当年	前年
平均年齢	82歳8ヶ月	82歳2ヶ月	79歳7ヶ月	78歳3ヶ月	84歳7ヶ月	85歳0ヶ月
最高年齢			90歳0ヶ月	89歳1ヶ月	102歳8ヶ月	101歳9ヶ月
最少年齢			66歳2ヶ月	65歳3ヶ月	67歳4ヶ月	66歳5ヶ月

8、平均入居期間

介護区分	全		男		女	
	当年	前年	当年	前年	当年	前年
平均入居期間	4年6ヶ月	4年10ヶ月	4年6ヶ月	4年5ヶ月	4年6ヶ月	5年0ヶ月

令和2年度ケアハウスグリーンヒル淳風施設内活動、行事報告

1、行事

行事名	開催日	参加数	前年度
夜桜花見会	中止	0	33
花見会	4/5	45	53
バーベキュー大会	中止	0	41
夕涼みガーデン	中止	0	38
敬老会	9/13	45	48
運動会	中止	0	24
焼芋大会	11/15	41	32
秋の行楽ツアー(イオンモール)	中止	0	11
餅つき大会	中止	0	60
新年会	1/7	41	41
初釜	1/19	34	33
(花見フェス	3/24	37	−

＊夜桜花見会での軽食提供は中止としたが、3月下旬から4月初めの1週間、ライトアップを行なう。

2、クラブ活動

クラブ名	実施回数	参加数（延べ）	参加数（平均）	前年度（平均）
うた体操の会	0	0	0.0	5.2
カラオケの会	0	0	0.0	6.8
輪投げ会	0	0	0.0	6.2
ビデオ映画会	4	27	6.7	7.1
手作りクッキング	0	0	0.0	5.7

3、アクティビティ

アクティビティ名	実施回数	前年度
食事ツアー	0	9
買物ツアー	4	18
喫茶	1	3
季節の入浴	12	12
出張デパート(フルカウント)	0	3
訪問販売(セブンイレブン)	0	11

（コロナ感染症予防のため、食事ツアーは中止。買い物ツアーは感染状況をみて一時開催。）

4、懇談会等交流会

会議名	実施回数	前年度
ご入居者懇談会	2	4
事故苦情第三者委員会	0	1

5、ボランティア受け入れ実績

ボランティア名	受入人数	前年度
一般	0	12
寝屋川市社協	0	82
清風寺餅つきボランティア	−	−
清風寺若葉会	0	61
信光寺	0	11

令和2年度研修一覧表

施設外研修

研　修　名	参加人数
消費サポーター更新研修	1
小地域ネットワーク活動リーダー研修会	1
介護保険法改正＆介護報酬改定セミナー	1
私達を取巻く状況と2021年介護報酬改正について	6
認知症疾患医療センター研修会	1
法人合合同事例検討会	6
寝屋川難病医療ネットワーク会議	1

地域貢献に関するもの

会議名等	回数
寝屋川市高齢者施設協議会	3

令和 2 年度年度　事業報告

社会福祉法人淳風会

特別養護老人ホーム淳風とよなか

地域密着型特別養護老人ホーム淳風とよなか

(介護予防)短期入所生活介護

通所介護（総合事業含む）

訪問介護（総合事業含む）

（介護予防）小規模多機能ホーム淳風きたじょう

（介護予防）小規模多機能ホーム淳風ふたば

(介護予防)福祉用具貸与

特定（介護予防）福祉用具販売

居宅介護支援

庄内地域包括支援センター

Ⅰ．施設運営方針

ご利用者お一人おひとりの異なる生き方と価値観を受け止めて、少しでも多くの方が、心豊かにその能力に応じ自立した尊厳をもち、人間らしくお過ごしいただくようお手伝いをいたします。

Ⅱ．淳風とよなか 5 か年計画

１、高齢福祉の領域を超えた、多世代の地域貢献

地域貢献活動は地域全体を支援するものでなければならないため、高齢者対象に留まらず、子どもや障がい者も視野にいれなければならないと考える。

その為に、既に取り組んでいる高齢者を主として地域貢献以外に、　精神疾患の方や高次機能障害の方の集いの場（例：介護者家族の会）、引きこもりの子ども支援（例：子ども食堂）、子育て世代の支援（例：子育てサロン）など、多世代が通い、多世代が集う場所を新設特養の地域交流スペースと小規模多機能ホームを活用して作りあげていく。

２、事業の安定と多様化するニーズへの対応力アップとブランド化

法人の運営にあたり、各事業が安定した収益を確保することは大前提である。しかし、総合事業を始め、高齢と障害のサービス一体化、混合介護の解禁など、介護業界が大きく変動することは予測されており、その対応は敏感にかつ迅速に行わなければならない。その為にも、各管理者レベルで常に先を見越した計画性のある運営が主体的にできるように、組織を強化し、豊中市南部地域の福祉を支える拠点としての施設のブランド化を図る。

３、職員の育成とライフワークバランスの確立。

福祉は人の支え合いが基本であり、それゆえ、自己犠牲を伴いやすい。しかし、職員の好意や自己犠牲に頼った運営は、人を消費するだけで発展はない。そのためにも、職員の育成をしっかりと行うと同時に、職員の人生にも目を向けた運営を行う。

職員の育成は育成等級評価制度の基本に制度を成熟させていく。同時に職員一人一人の生き方や価値観を共有し、職員の人生を応援するための自己啓発の機会の提供や、柔軟な業務体系の見直と福利厚生の充実を図っていく。

上記 5 か年計画を踏まえ計画した、令和 2 年度の事業について、報告を致します。

Ⅲ．淳風とよなか全体の目標

１、　淳風とよなかのビジョンの周知

・各部署の会議に加え、大所帯となる特養介護はフロア又はユニット単位で会議を行い、施設長が毎回出席することで、意見交換を図った。
・一方で、伝達・意志統一の場としていた職員会議が開催できず、代わりの対策も

打てなかった。

２、経営基盤の強化

・事務長を中心にコロナ関連の補助金、人材確保、各種提出書類、法改定の対応がスムーズにできるようになり、経理、労務、庶務の業務の精度も向上した。次年度は施設長２人体制になるため、各施設長が連携して同様の体制を維持していく。

・外国人の留学生が１名入職。介護福祉士の資格取得者も増やすことができた。

３、職員の相合理解を深め、思いやりのある職場作り。

・計画していた接遇マナー研修と、指導者となるためのリーダー研修については、コロナにより中止またはＷＥＢ研修となり、成果は得られなかった。

・職員間のコミュニケーション不足を解消するために、ビジネス用の LINE（LINEWORK）を導入し、各部署内の連絡ツールとして一定の成果を上げた。

４、業務の効率化と身体的負担の軽減。

・ＩＣＴを積極的に進めたことで、新型コロナ禍において有効活用ができた。

・新型コロナ対策として整えたリモート環境は、結果として、業務の効率化や働きやすさの向上につながった。

・リフトやセンサーの活用が今年度も十分にできておらず、特養中心に導入計画を再度練り直すこととなった。

５、特別養護老人ホーム淳風とよなか（本館）改修工事の着工。

・新型コロナの影響により、工事は延期。令和３年度６月着工予定。

Ⅳ．各事業の目標

１、労務・経理

・各職員の業務習得は進み、全体的に安定した処理ができるようになった。合併による各種手続きが変更となるため、さらに習得を進めたい。

・新型コロナによる減収も予想より少なく、借入金の一部 3,000 万円を年度末に返済することができた。

２、庶務

・新型コロナに関する備品確保は新型コロナ緊急包括支援事業の補助金を活用し、上半期で完了し、業務に支障を出さず、安定供給することができた。

・防災マニュアルの完成したものの、新型コロナの影響で自治会と連携した訓練は行えなかった。さらに令和３年度の法改定において BCP（事業継続計画）の策定が義務付けられたため、計画的に進めたい。

・家族後援会に関する活動はすべて中止。代わりに施設行事を LIVE 配信するなどをして、情報発信を図った。

３、栄養室
・個人の生活リズムに合わせた食事提供ができるようになり、今後も食事による重度化を防止していきたい。
・新型コロナに対応した、小さい単位の行事食を浸透させることができた。

４、医務室
・業務内容の見直し、職員の安定により業務内容は充実したが、下期になって、新型コロナによるPCR検査、入居者の重度化による受診、医療連携が増え、管理者の負担が増加した。その為、長期化する新型コロナの対応も踏まえ、管理者のフリー時間が確保できるように、看護職員の増員を図った。

５、診療所
・地域の病院、在宅医との連携は変わらず行えた。
・ＰＣＲ検査を診療所で実施できるようになったことで、必要に応じての検査がスムーズに行え、現場の安心感につながった。

６、特別養護老人ホーム淳風とよなか及びショートステイ淳風とよなか

稼働率	今年度	前年度	前年比
特養	97.7%	95.7%	102.1%
ＳＳ	96.2%	98.9%	97.3%
合算	97.4%	96.2%	101.3%

①　特別養護老人ホーム
・稼働率97.6%（58.6名/日）を目標は達成。
・看取り介護マニュアルの見直しが完了。褥瘡予防も進み、重度化を防げた。
・認知症リーダー研修１名修了。
・ノーリフトケアが浸透せず。淳風おおさかの成功例を参考に、引き続き取り組んでいく。
・言葉使いのマニュアルを配布し、自己学習とアンケートを通じて、意識向上を図った。
・フロア内の完全ＷＩＦＩ化が完了。フロア内での記録、ネットＴＶの視聴が可能となり、職場環境の改善につながった。

②　ショートステイ
・稼働率99.0%（11.9人/日）は未達成。短期利用のニーズが少なくなったことが要因。第４四半期より長期利用者の居室数を増やし、稼働率向上を図った。特養と合算した目標稼働率97.9%は未達成。

7、地域密着型特別養護老人ホーム及びユニット型ショートステイ淳風とよなか

稼働率	今年度	前年度	前年比
特養	92.6%	96.3%	96.1%
ＳＳ	100.3%	89.0%	112.7%
合算	94.7%	94.3%	100.4%

① 地域密着型特別養護老人ホーム

・稼働率 96.5%（28.0 名/日）は未達成。退院の目途の立たない入院者、急な退去者が非常に多かったことにより、純空床期間が平均 8.8 日と長くなったことが要因。
・フロアリーダーへの権限移譲はほぼ完了。各フロア及びユニットで個性のある行事が実施されるようになった。
・ノーリフトケアが浸透せず。淳風おおさかの成功例を参考に、引き続き取り組んでいく。

② ユニット型ショートステイ

・稼働率 90.0%を目標は達成。特養の空床を活用できたことが要因。ただし、特養と合算した目標稼働率 95.0%は未達成。

8、通所介護

稼働率	今年度	前年度	前年比
通所介護	74.2%	81.9%	90.6%

・介護及び総合事業現行相当の目標稼働率を 85.0%は未達成。新型コロナによる利用自粛及び利用控えが要因。ただ、第 4 四半期になり稼働率 85%以上を維持している。
・特養看護師との連携、ICT の活用により、中重度利用者の受け入れに安心感ができた。また、カンファレンスや会議の開催方法を見直したことで、ケアの統一や委員会の取り組みの情報共有が進んだ。

9、訪問介護

介護保険関係	今年度	前年度	前年比
介護利用者数（延べ）	1,899 人	1,931 人	98.3%
障害利用者数（延べ）	159 人	136 人	116.9%
訪問回数	19,251 回	22,712 回	84.8%
サービス提供時間 （月平均）	18717：55 （1559：49）	21220：50 （1768：24）	88.2%

・新型コロナの影響で下方修正した、年間サービス提供時間目標 21,450 時間も未達成。新型コロナの影響もあるが、ヘルパーの一時的な休職が重なったことで、新規獲得ができなくなったことも要因。第 4 四半期にはヘルパーの復帰と新規ヘルパーの確保がすすみ、新規サービスの受け入れを再開することができた。

・特養での研修は新型コロナによりすべて中止したが、サービス提供責任者に担当ヘルパーをつけ、個人計画などの作成、指導を行った。
・業務の効率化、特定事業所加算算定にむけて、新記録システムを導入。令和 3 年度より運用開始した。

10、居宅介護支援事業

契約者数	今年度	前年度	前年比
要介護	1,858 件	1,525 件	121.8%
要支援	395 件	318 件	124.2%

・6 名体制が 12 月にずれ込んだことで、下方修正した目標契約数の介護 1,872 件は未達。予防 386 件は達成。重度ケースが多く契約解除が多かったこと、新型コロナによる休止ケースが増えたことが要因。
・ICT、リモート会議の活用が進み、カンファレンスや研修会の開催、実施はコロナ禍でも継続できた。その結果、医師や医療機関からの直接依頼が増えた。
・毎朝の朝礼、週 1 回のミーティングを通じて、相談をその都度皆で行うことで、精神的負担の軽減を維持できた。

11、小規模多機能ホーム淳風ふたば及び淳風きたじょう

契約数	今年度	前年度	前年比
きたじょう	82 件	276 件	29.7%
ふたば	269 件	273 件	98.5%

①淳風きたじょう
・11 月 30 日をもって、事業を廃止した。

②小規模多機能ホーム淳風ふたば
・目標とした年間登録者数 308 件及び年度末登録者数 26 名は未達成。きたじょう閉鎖により、一時は登録者数が 25 名になったが、その後、入所やご逝去により解約が重なったこと。新型コロナの影響で、利用控えは進み、小規模多機能ホームへニーズがへったことによる新規依頼の減が要因。
・看護師配置加算を 8 月で廃止。代わりに ICT を活用した医療連携を開始した。
・12 月に利用者 2 名が新型コロナに感染。職員のほぼ全員が濃厚接触者となり、事業継続が困難となったが、特養、訪問介護からの応援により対応ができた。

12、福祉用具貸与・販売

売上金額	今年度	前年度	前年比
売上（貸与）	56,554,910	55,857,830	101.2%
売上（自費貸与）	385,700	357,190	108.0%
売上（特定販売）	2,751,190	3,675,100	114.7%
売上（一般販売）	7,443,635	5,098,951	146.0%
合計	67,890,225	65,703,621	103.3%

・年間総売上目標 67,995,000 円をほぼ達成。新型コロナ補助金に関する注文増の影響が大きい。
・令和 3 年度より営業 3 名体制となった。

13、地域包括支援センター

介護保険関係	今年度	前年度	前年比
予防プラン数（延べ）	8,750 件	9,119 件	98.3%
内直轄プラン（延べ）	2,165 件	2,215 件	98.2%
相談件数（延べ）	8,407 件	7,059 件	121.5%

・目標とする年間プラン数 9,601 件（内直轄プラン 2,587 件）は未達。配置人員 11 名に対して 1 名少ない 10 名体制が続いたこと。要介護認定が増加する一方で、要支援認定が減少したことが要因。ただ、人員の欠員は令和 3 年 4 月に解消した。
・新型コロナにより、地域ケア会議、地域活動はほぼ中止となった。その為、新型コロナによる地域の状況把握するために、3 月に全民生委員にアンケートを実施。90%の回答率を得た。

14、シルバーハウジング事業
・新型コロナの影響で、援助室での各活動はほぼ中止となったため、毎日の自宅訪問による安全確認の強化を図った。

15、社会貢献事業
・地域交流スペース夢日記の活動はほぼ中止。体操等の地域活動、児童への開放はほとんど行えなかった。
・地域児童との交流のため、地域の NPO 法人の協力頂き、お菓子配り（ハロウィン)、キャンドルイベント（クリスマス)、卒業生のメッセージ送付（庄内西小学校）を行った。

16、設備・備品購入一覧

購入日	内容	金額	コロナ補助金対象
4月17日	浴室バルブ	139,550	
4月20日	1号車入替	532,810	○
4月23日	原動機付自転車	179,290	○
4月24日	赤外線　新館・本館　各1台	126,830	○
5月19日	ﾊｲｾﾞｯﾄｽｰﾊﾟｰ車検	107,141	
6月24日	本館1階　漏水工事	5,313,000	
6月26日	本館3階　漏水工事（工事済分）	110,000	
7月7日	本館共同トイレ便器入替	246,400	
7月13日	ノートPC・ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟ各１台入替	213,500	○
7月27日	N-BOX　車検　1台目（ふたば）	120,341	
7月28日	ekワゴン　車検	109,984	
7月29日	N-BOX　車検　2台目（ふたば）	114,979	
7月30日	ﾊｲｾﾞｯﾄ　車検	122,057	
7月30日	本館2階共同トイレカラン入れ替え（2か所）	130,680	
10月27日	きたじょう　複合機引っ越し	121,000	
10月27日	福祉用具　電話回線整備	171,700	
10月30日	本館　非常用発電機修理	527,846	
11月12日	デイルーム洗面カラン入れ替え　3台	290,000	○
11月16日	ノートPC　新2（特）　中古4（居宅・包括）	375,600	○
11月20日	アイソレーションガウン	121,000	○
11月25日	全館　特定建築物定期調査	120,000	
12月1日	加湿空気清浄器　12台	1,452,000	○
12月1日	空気清浄器　8台	307,824	○
12月17日	プラスチックガウン	286,000	○
12月22日	本館　ネットワーク工事	798,820	○
12月24日	チラシポスティング（ラスクル）	126,680	
1月4日	ナーシングカート　2台	172,700	○
1月20日	きたじょう　ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ補助金返金	2,111,500	
1月21日	プラスチック手袋	440,400	○
1月23日	本館　自動ドア修理	404,000	
1月25日	プラスチックガウン	286,000	○
2月1日	本館　シャワーキャリー　2台	122,702	
2月17日	眠りスキャン（20台）	1,860,650	○
3月4日	トヨタハイエース車両入替	1,700,000	
3月9日	スプリンクラー系統調査	132,000	
3月27日	本館シャワー室内水栓取替	99,810	
小計		19,594,794	

特別養護老人ホーム 淳風とよなか

1. 入居者数
2021年3月31日現在　　60名

2. 最終審査済入居待機者数(月末)

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	7	4	3	0	0	1
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	3	3	3	2	2	2

3. 新規入居者数

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	0	0	1	2	2	0
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	1	1	2	1	0	1
					合計	11
					前年度	18

4. 退居者数

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	0	0	0	4	1	0
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	3	0	0	2	0	3
					合計	13
					前年度	15

5. 面会者数

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	14	46	83	106	16	12
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	110	36	7	10	0	43
					合計	483
					前年度	2213

6. 1日平均入院者数

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	0.93	1.13	1.93	1.71	0.48	1.42
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	1.59	0.60	0.70	0.00	1.00	2.97
					合計	1.21
					前年度	1.75

7. 救急搬送実施者

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	1	0	0	5	1	1
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	3	0	1	0	1	1
					合計	14
					前年度	17

8. 看取り介護実施件数

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	0	0	0	3	1	0
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	2	0	0	2	0	0
					合計	8
					前年度	8

9. 介護度区分状況　　3月31日現在

	男	女	計
介護　1	0	1	1
介護　2	2	2	4
介護　3	5	16	21
介護　4	9	15	24
介護　5	4	17	21
計	20	51	71
介護度　平均	3.75	3.88	3.85
前年度	3.88	3.93	3.91

地域密着型特別養護老人ホーム 淳風とよなか

1. 入居者数
2021年3月31日現在　29名

2. 最終審査済入居待機者数(月末)

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	3	2	0	2	1	0
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	2	3	1	2	3	3

3. 新規入居者数

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	1	2	3	1	3	1
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	1	1	1	2	1
					合計	17
					前年度	9

4. 退居者数

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	0	4	2	2	2	0
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	2	1	1	0	2
					合計	15
					前年度	10

5. 面会者数

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	11	13	53	55	4	24
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	75	48	5	0	0	34
					合計	322
					前年度	1460

6. 1日平均入院者数

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	1.77	3.65	1.83	1.00	0.00	0.00
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0.03	1.67	1.71	2.23	3.18	1.84
					合計	1.56
					前年度	0.87

7. 救急搬送実施者

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	1	1	3	0	0	0
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	2	1	2	0	0
					合計	10
					前年度	9

8. 看取り介護実施件数

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	0	0	0	2	1	0
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	0	1	0	1	0	0
					合計	5
					前年度	2

9. 介護度区分状況　　3月31日現在

	男	女	計
介護　1	0	0	0
介護　2	0	0	0
介護　3	1	3	4
介護　4	4	13	17
介護　5	3	5	8
計	8	21	29
介護度　平均	4.25	4.09	4.14
前年度	3.67	4.26	4.07

2年度　施設内活動及び行事報告　　淳風とよなか(従来型特養)

行事(行き先)	実施日	入居者等参加数	家族参加数	ボランティア	今年度 参加総数	前年度 参加総数
花見(二葉北公園)	中止				0	57
バーベキュー大会	中止				0	69
流しそうめん	7/5,12	47	0	0	47	59
秋祭	中止				0	83
敬老会	9/20	58	0	0	58	63
運動会	中止				0	48
焼きいも大会	中止				0	62
餅つき大会	中止				0	68
初釜	中止				0	0
新年会	1/10	65	0	0	65	62
初参り(庄内神社)	中止				0	65
鍋大会	中止				0	37
節分豆まき	2/2	60	0	0	64	29
雛祭り喫茶	3/7	70	0	0	70	49

2、クラブ活動

クラブ名	実施数	延べ人数	平均人数	前年度 平均人数
書道クラブ	中止			8.8
民謡クラブ	中止			38.2
法話会	中止			8.1
料理クラブ	8	47	5.9	7.9
園芸クラブ	中止			9

2年度　施設内活動及び行事報告　　淳風とよなか（地域密着型）

1、行事

行事（行き先）	実施日	入居者等参加数	家族参加数	ボランティア	今年度 参加総数	前年度 参加総数	
流しそうめん（愛語ユニット）	7月31日	20	0	0	20	40	
スイカ割り（愛語ユニット）	8月21日	20	0	0	20	—	
かき氷（顔ユニット）	8月24日	9	0	0	9	—	
敬老会	9月19日	29	0	0	29	42	
秋祭り	10月29日、30日	29	0	0	29	—	
焼きいも大会	11月30日、12月1日	26	0	0	26	32	
駄菓子屋さん	11月4日、12月7日	27	0	0	27	—	
クリスマス会	12月25日	26	0	0	26	—	
新年会	1月10日	27	5	0	32	45	※リモート中継
節分豆まき	2月2日	25	0	0	25	28	
お誕生会（愛語ユニット）	2月5日	18	0	0	18	—	
チョコフォンデュ（顔ユニット）	2月22日	8	0	0	8	—	
ひな祭り	3月3日	27	0	0	27	37	

令和2年度研修・地域会議一覧表

1、研修

①施設外研修

研修名	主催	日程
大阪府介護支援専門員更新研修	大阪府介護支援専門員研修指定団体　公益財団法人　YMCA	R2.11月～R3.3月で計8回
成年後見制度研修会	庄内地域包括支援センター	8月26日
ファシリテーション研修	大阪府社会福祉協議会　大阪福祉人材支援センター	10月1、2日
リスクマネジメントに関する研修会	大阪府社会福祉協議会　大阪福祉人材支援センター	10月27日
眠りSCANオンラインセミナー	パラマウントベッド	10月20日
介護支援専門員資質向上研修　災害時要援護者への対応力を育む	公益財団法人　YMCA	10月22日
接遇マナー研修	株式会社　R・A・C	10月23日
認知症介護実践者研修(実践リーダー研修)	公益社団法人大阪介護老人保険施設協会	R2.11月～R3.3月で計11回
アンガーマネジメント入門講座	日本アンガーマネジメント協会	11月7日
豊中市認定調査員フォロー研修	豊中市長寿安心課認定係	12月4日
事例のまとめ方について	大阪府介護支援専門員協会浪速区支部	11月19日
新しい介護のあり方を考えよう(オンライン)	大阪府社会福祉協議会　老人施設部会	12月4日
コミュニケーションスキル	大阪府介護支援専門員協会豊中支部	12月5日
人権研修（ZOOM）	門真第一地域包括支援ｾﾝﾀｰ	12月17日
豊中市感染症対策研修	豊中市福祉部	12月9日，21日
高齢者虐待防止の為の勉強会	豊中市介護保険事業者連絡会	12月15日
ケア基本研修	ATCエイジレスセンター	12/20．1/17、2/21、3/21
高齢者施設ケアマネジメント研修	大阪府社会福祉協議会　大阪福祉人材支援センター	1月18日
課題整理総括表の有効な活用方法や作成を学ぼう	大阪府介護支援専門員協会　大阪笹山支部	1月19日
人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	大阪府介護支援専門員協会　摂津支部	1月15日
大阪府認定調査員研修	大阪府福祉部高齢介護室介護支援課	12月21日
アンガーマネジメント	庄内地域包括支援センター	12月22日
リーダーシップとマネジメント～管理の仕方、間違っていませんか～」	ケアマネジャーを紡ぐ会	1月29日
職場のよきメンター(相談できる人)になるためのコミュニケーション方法	大阪府社会福祉協議会　老人施設部会	1月21日、22日
介護福祉士実習指導者講習会	大阪介護福祉士会	1/30、2/13、2/20、3/6、3/7
ユニットケア　ワンポイントセミナー	全国個室ユニット型施設推進協議会	2月4日
ユニットケア　ワンポイントセミナー	全国個室ユニット型施設推進協議会	2月18日、25日
女性リーダー研修	大阪府社会福祉協議会　老人施設部会	2月15日16日
「高齢者虐待～ケアマネジャーの役割と対応について」	地域包括支援センター　八戸の里	2月26日
効果的な介護予防ケアマネジメントと自立支援に向けたサービス展開について	介護支援専門員協会	3月7日
コロナ過の中でも出来る認知症予防	庄内包括支援センター	3月19日
身体にかかる圧の影響と対策について	大阪府社会福祉協議会　老人福祉部会	3月11日
ユニットケア　ワンポイントセミナー	全国個室ユニット型施設推進協議会	3月9日、23日
介護報酬改定内容の理解を深め介護報酬改定の要点と介護支援業務の留意点を学び適切で円滑な……	淀川区西部地域包括支援ｾﾝﾀｰ	3月8日
大阪府介護支援員更新研修実務者向け研修、専門研修課程Ⅰ	大阪府介護支援専門員協会	4月2日～10月21日までの12回

②職員会議研修

研修名	主催	日程
倫理・法令遵守・淳風会理念についての研修	理事長	4月職員会議
感染症又は食中毒の予防及びまん延防止の為の研修	食中毒・感染症対策委員会	5月職員会議
地域貢献についての研修	地域貢献委員会	6月職員会議
身体拘束に関する研修	身体拘束検討委員会・虐待防止対策委員会	7月職員会議
苦情処理、事故防止の為の職員に対する研修	事故検討委員会・苦情相談対策委員会	8月職員会議
褥瘡予防	褥瘡対策委員会	9月職員会議
感染症又は食中毒の予防及びまん延防止の為の研修	食中毒・感染症対策委員会	10月職員会議
看取りに関する職員研修	医療行為・看取りケア検討委員会	11月職員会議
医療の基礎知識		
基本的人権、プライバシー、個人情報に関する研修	理事長	12月職員会議
身体拘束に関する研修	身体拘束検討委員会・虐待防止対策委員会	1月職員会議
事故防止の為の職員に対する研修	事故検討委員会・苦情相談対策委員会	2月職員会議
非常災害時の対応についての研修	防災委員会	3月職員会議

③地域会議（包括除く）

会議名	主催・講師	日程
ケアマネカフェ	庄内地域包括支援センター	7月17日
地域ケア会議	庄内地域包括支援センター	9月15日
居宅介護支援・他法人との合同事例勉強会（オンライン）	二葉園居宅・ねこのて居宅・ｻﾗｰｼﾞｭ居宅・淳風居宅合同	9月15日
居宅介護支援・他法人との合同事例勉強会（オンライン）	波除福祉会・淳風おおさか・グリーンヒル淳風・淳風とよなか	10月20日
ケアマネカフェ	庄内地域包括支援センター	9月17日
庄内ケマネット（こんな時だからこそやってみようZOOM、繋がろうｹｱﾏﾈｯﾄ）	庄内ｹｱﾏﾈｯﾄ実行委員会	12月16日
地域ケア会議	庄内地域包括支援センター	12月15日
居宅介護支援・他法人との合同事例勉強会（オンライン）	二葉園居宅・ねこのて居宅・ｻﾗｰｼﾞｭ居宅・淳風居宅合同	2月16日
ほっとライン庄内	庄内地域包括支援センター	3月27日

④その他

研修名等	主催・講師	日程
令和2年度上期　苦情第三者委員会	苦情検討委員会	中止
令和2年度下期　苦情第三者委員会	苦情検討委員会	10/27
令和2年度第1回避難訓練（昼間想定）	防災委員会	9/29
令和2年度第2回避難訓練（夜間想定）　※日中に実施	防災委員会	3/28
令和2年度防災訓練（1回目）　※避難訓練と同時開催	防災委員会	9/29
令和2年度防災訓練（2回目）　※避難訓練と同時開催	防災委員会	3/23

参加者
1
1
1
2
1
2
3
1
1
1
1
2
1
2
1
1
2
1
1
1
1
1
1
2
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1

参加者
中止の為回覧のみ
中止の為回覧のみ
中止の為回覧のみ
中止の為回覧のみ
中止の為回覧のみ
中止の為回覧のみ
中止の為回覧のみ
中止の為回覧のみ
中止の為回覧のみ
中止の為回覧のみ
中止の為回覧のみ

参加者
1
1
5
5
1
2
1
6
2

参加人数
8名
127名
124名
127名
124名

令和２年度事業報告

特別養護老人ホーム　淳風おおさか
特別養護老人ホーム事業
（介護予防）短期入所生活介護事業
(介護予防・日常生活支援総合事業)通所介護事業
居宅介護支援事業
診療所事業
地域総合相談窓口事業

理事会で承認されました、令和２年度の事業計画において
①誇りを持って働ける職場作り
②おもてなしの強化
③認知症ケアの推進
以上の３点を全体の目標として各事業を運営しましたので報告致します。

①誇りを持って働ける職場作り

・施設サービス課費、デイ費の使途については、人材育成や遣り甲斐に繋がる有効活用には至っていない。次年度には、減額した上で職員の自主性や達成感、人材育成に繋がる有効活用を目指す。
・職員一人ひとりが考えることが当たり前になることについては、徐々にではあるが浸透しつつある為、焦らず継続して取り組んでいく。また新たな視点や思考力を養えるよう、外部研修や外部講師の活用を検討していく。

②おもてなしの強化

・外部講師参加のサービス向上委員会については、コロナ禍の影響により６月より実施。年度末も数回見送っており、令和３年度も引き続き実施予定。
・委員会メンバーが講師役を担える接遇のスキルアップと淳風おおさか独自のマニュアル作成については、参加している職員のモチベーションも高く、順調に取り組めている。
・ご入居者、ご利用者への言葉使いについては、以前に比べて格段に良くなったが、時間の経過と共に時折乱れていることがある。遅れているマニュアル作成や研修会を定期的に開催することで、淳風おおさか全体に定着できるよう取り組んでいく。

③認知症ケアの推進

・委員会メンバーで認知症ケアマニュアルを見直し、実際に活用可能な認知症ケアマニュアルを作成。意図的にケアプランに盛り込み、職員への浸透を図った結果、

今まで漠然と行っていたケアが明文化されたことにより、モニタリングで効果測定が可能となった。その結果、認知症ケアとして統一したケアが可能となり、成功事例が徐々に出始めてきている。

・認知症ケアの観点からデイ、ショート、特養の連携強化を図った結果、ケア全体の連携に繋がり、よい効果が得られているので、このまま継続していきたい。

≪各事業の報告≫

	稼働率		
	今年度	前年度	前年比
特養	**97.1%**	96.6%	100.5%
ＳＳ	**96.5%**	117.5%	82.1%
合算	**97.0%**	98.9%	98.0%

①特別養護老人ホーム

・稼働率については目標達成。待機者管理と新入居者に応じたフロア変更等ベッドコントロールを徹底することにより、空床期間の実現できた。

・入居申し込み者数は前年より半減。コロナ禍の影響ではなく、空きがある特養がある等の近隣施設の動向が影響しているものと考えられる。デイご利用者がショートステイ利用、特養入居というケースが増えてきている為、担当者間の情報共有を図っている。

・コロナ禍により、対面による面会は原則禁止とし、状況に応じて窓越し面会やビデオ面会を実施。但し著しい状態の変化や再終末期においては、感染対策を徹底したうえで面会可能とするなど、臨機応変に対応できている。

・冬場における感染対策の一環として、ご入居者各自に加湿器の購入を依頼し、各居室に加湿器を設置することができた。

・腰痛対策の一環として取り組んでいる、ノーリフトについては、床走行式リフトを計 7 台と特殊浴槽の入れ替えを行った。各々勉強会を実施し、日常業務において活用できている。

②短期入所生活介護

・前半は緊急事態宣言の影響により稼働率低迷したが、その後は安定した稼働率を維持し、目標を達成出来ている。

・コロナ禍において、近隣の事業所では、新規受け入れ停止や長期のみの受け入れ等の対策を講じている事業所多い。淳風おおさかでは、何度も議論を重ねたが、ショートステイは認知症介護のレスパイト等、在宅生活を支える上で無くてはならないサービスである為、感染対策を講じた上で、通常通りの受け入れを継続している。

・ショートステイの担当者が変更となったが、スムーズに引き継ぎ業務を終えている。

③通所介護

	稼働率		
	今年度	前年度	前年比
通所介護	**60.8%**	70.4%	86.3%

・目標 71%に対し、60.8%と未達。要因としては、コロナ禍による利用控え（サ高住含む）や入院・入居増が要因。解約者数は前年度より 10 名増となっている。
・特養併設の強みを活かし、中重度をターゲットとしているが、平均介護度の年間平均が 3.04 と重度化が顕著である。近隣の動向として、空きがある施設が増得ていることもあり、入院から即入居の流れが増えてきている。
・営業についても、コロナ禍でなかなか難しいが、機能訓練の映像化やデイ便り、体験利用者への写真付き状況報告等、見える化を図っている。
・床走行式リフトの導入により、中重度者への対応の幅が広がった。

④居宅介護支援事業所

	実働件数		
	今年度	前年度	前年比
要介護	**1,202 件**	1,047 件	114.8%
要支援	**918 件**	759 件	120.9%

・四半期ごとの目標件数については、介護は未達、予防は達成。ほぼ目標通りの実績となる。
・新規受け入れは目標達成するも、解約者が多い。要因としては、ご利用者の重度化と入院すると面会禁止となり、退院時にはそのまま施設入居するケースの増加顕著であった。今後もこの傾向は継続する見込みであるので、入院中からご家族に対してプラン提案等を実施していく。
・コンプライアンスについては、法人内での内部監査は実施出来なかったが、事業所内での相互チェックは年 2 回実施している。
・地域との関係作りはコロナ禍により難しい面はあるが、掲示板の設置等地域住民と共に取り組みを実施出来ている。
・近隣の診療所とは往診や診察への同席などを通じて関係作りを継続。医師からは介護保険申請や制度について相談を受ける等関係は良好である。

⑤大淀地域総合相談窓口

	実働件数		
	今年度	前年度	前年比
総合相談実件数	**203 件**	132 件	153.7%
総合相談延べ件数	**1,197 件**	892 件	134.1%

・相談件数については、評価基準をクリア。
・相談窓口が多岐にわたる為、分散される傾向にあるが、各専門職との
　連携を密に図っている。
・コロナ禍で思うように地域活動が出来ない中、地域住民や淳風おおさかと共に掲示板（ホワイトボード）への通信創刊号を掲示することができた。継続して意見交換するとともに、住宅内の意見を抽出し、今後の活動に結び付けていく。

⑥その他
・空調入れ替え工事については、予定通り実施することが出来た。令和 3 年度にはナースコール及び電話交換機の入れ替えがあり、その後も改修工事や大型備品の入れ替えが予定されているので、計画的に積立を実施していく。

特別養護老人ホーム 淳風おおさか

1. 入居者数

2021年3月31日現在　80　名

2. 最終審査済入居待機者数(定例委員会終了時点)

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	6	6	7	6	6	6
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	6	4	11	6	4	4

3. 新規入居者数 ※措置入所含む

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	4	0	0	1	2	1
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	3	2	0	2	3	1
					合計	19
					前年度	23

4. 退居者数※措置入所含む

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	4	0	1	1	1	3
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	1	2	1	2	1	3
					合計	20
					前年度	20

5. 面会者数※延べ数

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	0.57	1.42	3.9	1.61	0.81	1.1
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	1.16	4.33	3.39	2.35	0.11	1.71
※面会制限					合計	22
					前年度	3,899

6. 一日平均入院者数

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	0.57	1.42	3.9	1.61	0.81	1.1
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	1.16	4.33	3.39	2.35	0.11	1.71
					合計	1.87
					前年度	1.84

7. 救急搬送実施者

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	0	5	3	0	1	1
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	0	2	1	1	2
					合計	16
					前年度	25

8. 苦情検討委員会

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数						
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数						
					合計	0
					前年度	13

9. 看取り介護実施件数

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	3	0	1	1	0	2
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	1	1	1	1	1	2
					合計	14
					前年度	14

10. 介護度区分状況　　3月31日現在

	男	女	計
介護　1	0	0	0
介護　2	0	2	2
介護　3	3	15	18
介護　4	3	26	29
介護　5	6	25	31
計	12	68	80
介護度　平均	4.25	4.08	4.11
前年度	4.0	4.1	4.06

令和2年度　施設内研修

研修名	主催	日程	参加者
倫理・法令厳守に関する研修	理事長	職員会議時	全職員
地域貢献に関する研修	地域貢献委員会	職員会議時	全職員
感染症又は食中毒の予防及びまん延防止の為の研修	食中毒・感染対策委員会	職員会議時	全職員
苦情処理、事故防止の為の職員に対する研修	事故検討対策委員会	職員会議時	全職員
看取りに関する職員研修	医療行為及び看とり 介護検討委員会	職員会議時	全職員
身体拘束に関する研修	施設ケアマネ	職員会議時	全職員
基本的人権、プライバシー、個人情報に関する研修	理事長	職員会議時	全職員
事故防止の為の職員に対する研修	事故検討対策委員会	職員会議時	全職員
感染症又は食中毒の予防及びまん延防止の為の研修	食中毒・感染対策委員会	職員会議時	全職員
医療の基礎知識	医務室	職員会議時	全職員
非常災害時の対応についての研修	防災委員会	職員会議時	全職員
認知症の介護に関する研修	認知症ケア推進委員会	職員会議時	全職員

※資料配布のみ
シミュレーション

研修名	主催	日程	参加者
感染症対策（赤十字、ガウンテクニック）	食中毒・感染対策委員会	4月～6月	特養職員
新型コロナウイルス感染症対策	食中毒・感染対策委員会	2/8-2/10	全職員
緊急時対応	事故検討委員会	4月～3月	特養介護職員 ※夜勤業務を行う者のみ

OFFJT研修

研修名	主催	研修日	参加者
OFFJT基礎研修（認知症ケア、看取りの指針、身体拘束）	施設長	4月、7月、9月	6名

令和2年度施設外研修

研修名	主催	日程	参加人数
新型コロナウイルス感染症予防に関する研修会	老人施設部会	12/8	3名
救命救急講習会	（一財）大阪消防振興協会	11/10	3名
接遇研修	オフィス・スキッパー	11/11	21名
ノーリフト研修	テクノエイド	6/24	8名